

生涯学習のプラットフォーム構築推進事業の方向性について(案)

1 事業の趣旨、目的

県生涯学習審議会建議「超高齢社会に対応した生涯学習の在り方について」(平成28年2月)の提言にある、生涯学習の可能性を拓げるため異なる組織が連携・協働して「生涯学習のプラットフォーム」を構築し、世代間交流や地域社会への参画が促進される循環を創り出すため、市町村における生涯学習のプラットフォーム構築を進め、本県の超高齢社会に対応した生涯学習活動を推進していく必要がある。

そこで、県は、市町村におけるプラットフォーム構築のための人材育成、体制づくり支援を中心とした事業を、3年間で1サイクルの事業として実施する。

2 事業の内容

1年目

(1) コーディネーター養成研修

市町村における地域ごとの課題に対応したプラットフォームの構築を推進するためには、自らの活動等により地域の課題を把握し、市町村関係部局等と協働して課題を解決するために行動する、地域の核となる人材であるコーディネーターが重要であることから、その人材を養成するため実践的なスキルを身に付ける研修を行う。

○研修の対象者

本県の指導者養成研修等の組織立った研修の修了生等地域活動に基本的な知識のある者で、高齢者の健康づくり、生きがいづくり、居場所づくり等、地域での活動をこれから新たに始めてみたいと考えている者または、活動の幅をさらに広げたいと考えている者で、市町村と連携・協働して生涯学習のプラットフォームを構築する意欲のある者として市町村から推薦された者を対象とする。

○研修の内容

(ア) 全体会

- ・コーディネーター、地域のリーダーとして求められること
- ・地域課題の洗い出し
- ・地域課題の解決法

(イ) 活動実践(計画、実践、評価)

課題の洗い出し、解決のための活動実践を行う。高齢者の健康づくり、居場所づくり等テーマごとのグループに、県から指導者を1人ずつ派遣し、活動の実践方法を指導する。

(2) 成果発表会

研修を受けた者と市町村のマッチングを図るため、コーディネーター養成研修の修了後、研修生による成果発表会を行う。

(3) 連絡会議

取り組み状況の共有、地域でのプラットフォームづくりのための情報交換及び連絡調整を行うため、連絡会議を開催する。

ア 参加者 コーディネーター、市町村職員、県職員

イ 内容 取り組み状況の共有、情報交換及び連絡調整
・各市町村、地域の課題の確認について
・研修での活動グループ、活動場所について
・研修の成果発表について

2年目

(1) プラットフォーム構築支援

市町村のプラットフォーム構築を支援するための事業の実施を市町村に委託する。

○市町村の選定

市町村から企画提案を募集する。
提言(モデル)に沿った内容であることを重視し、複数地域から市町村を選定する。

○事業終了後

委託市町村から事業報告を受け、各市町村に提供する。

(2) 連絡会議

取り組み状況の情報共有、委託事業についての情報交換及び連絡調整のため、連絡会議を開催する。

ア 参加者 コーディネーター、委託市町村職員、県職員

イ 内容 取り組み状況の情報共有、委託事業についての情報交換及び連絡調整

3年目

アンケートの実施による効果測定

コーディネーター及び市町村へのアンケートの実施により効果を図る。